

悲鳴と安全切り捨てなど民営化と利益優先主義のゆがみがいたるところに吹き出していた。千葉のレール破断などをレポート。英語版あり。

● **人らしく生きようパート2／新たな出発**

ビデオプレス・2004年・100分・6000円(団体30000円)

闘争団は国労の「四党合意」採択にも挫けることなく、鉄建公団(旧国鉄)を相手に新たな訴訟を開始する。しかし国労本部は、生活援助金のカットや、組合員権の停止で報復する。中野勇人さんを中心に、生活と闘争の両立に苦悩する闘争団の姿を描く。

● **人らしく生きよう — 国労冬物語**

オススメ

ビデオプレス・2001年劇場公開版・100分・6000円(団体30000円)

国鉄分割民営化の歴史は、国労つぶしの歴史でもあった。組合脱退の強要、人材活用センターを使った隔離政策、そして不当解雇。そうした攻撃にも屈せず最後まで自分の良心を裏切らなかつた人々があった。1986年から15年にわたって撮り続けた貴重な歴史的映像。平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞 山形ドキュメンタリー映画祭上映作品 英語版、フランス語版あり。

● **国労第67回定期大会ドキュメント**

ビデオプレス・2000年・30分・3000円(団体9000円)

2000年10月28・29日国労第67回定期大会が開催され本部執行部は、二度の臨時大会で阻止された「四党合意」の採決を再度強行しようとした。反対する闘争団員と支援の仲間、大会会場の内と外で必死の抵抗を続け「四党合意」は三たび採決を阻止された。

● **7.1 国労臨大ドキュメント**

— 闘争団・家族の熱い一日

ビデオプレス・2000年・30分・3000円(団体9000円)

国労本部は「四党合意」に基づき「JRに法的責任なし」を認めて、1047名の解雇撤回闘争の幕引きを計ろうとした。7月1日の国労臨時大会で、闘争団・



家族が立ち上った。「わたしたちの人生を勝手に決めないでください」の言葉に託された家族の想いが胸を打つ。

● **背面監視 — JRベンディング職場からの告発**

ビデオプレス・1998年・30分・3500円(団体10500円)

国鉄の分割民営化以来、徹底した差別を受けてきた国労の組合活動家が、ベンディングと呼ばれる自販機職場



で働いている。東京駅の新幹線高架下にある「東京第一ベンディング」で、97年に行われた「背面監視」の実態を克明に追う。英語版あり。

● **JRに人権を — 国労闘争団の歩み**

ビデオプレス・1996年・20分・2500円(団体7500円)

JR発足時に国労というだけで解雇された1047人は、闘争団をつくり生活を支え、北海道・九州を中心に闘い続けてきた。日本の戦後労働運動史上まれにみる大争議の約10年の歩みと闘いの息吹を当時の映像を交えて伝える。

● **JR無法地帯**

— 東労組はこうして国労組合員を脱退させた

ビデオプレス・1996年・20分・3000円(団体9000円)

JR東労組は、国労に移った若い組合員に猛烈な脱退攻撃を行なった。1996年、高崎で起きた事件を追う。

● **洗脳教育**

ビデオプレス・1994年・20分・3000円(団体9000円)

国鉄分割民営化の前年1986年に、国鉄当局の労働者攻撃、国労つぶしの一環として行われた「企業人教育」の実態に迫る。この間、約7万人の職員が全国34ヶ所に設置された研修所に送り込まれた。佐高信氏のコメントつき。英語版あり。